

緑

のカーテンの育て方

ゴーヤ編

※ゴーヤについて説明しますが、他の植物にも応用できます。

準備しましょう

種や苗

園芸店やホームセンターなどで購入できます。初心者の方は、苗から育てるほうがお手軽です。ゴーヤの苗は4~5月頃に店頭に並びます。太くてしっかりした苗を選びましょう。



土

市販の野菜用の培養土などを使うと簡単です。



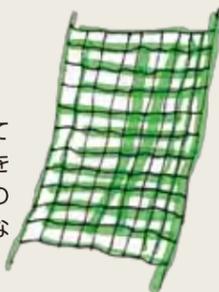
肥料

元気に大きく育てるためには、追肥をして養分を与える必要があります。油粕や堆肥などの有機肥料、または化学肥料を用います。



ネット

設置する場所にあわせて10cm角目程度のネットを用意しましょう。園芸用のものがホームセンターなどで販売されています。



ロープ・支柱

ネットをピンと張って、ベランダの柵や手すりなどにロープでしっかり結びつけます。固定する場所がないときは、支柱を組んで枠をつくりましょう。伸縮可能な突っ張り棒を使うと便利な場合もあります。



プランター

プランターで栽培するときは、1苗あたり土30リットルが目安です。できるだけ大きなものを選ぶようにしましょう。プランターの底には、鉢底石を敷きます。

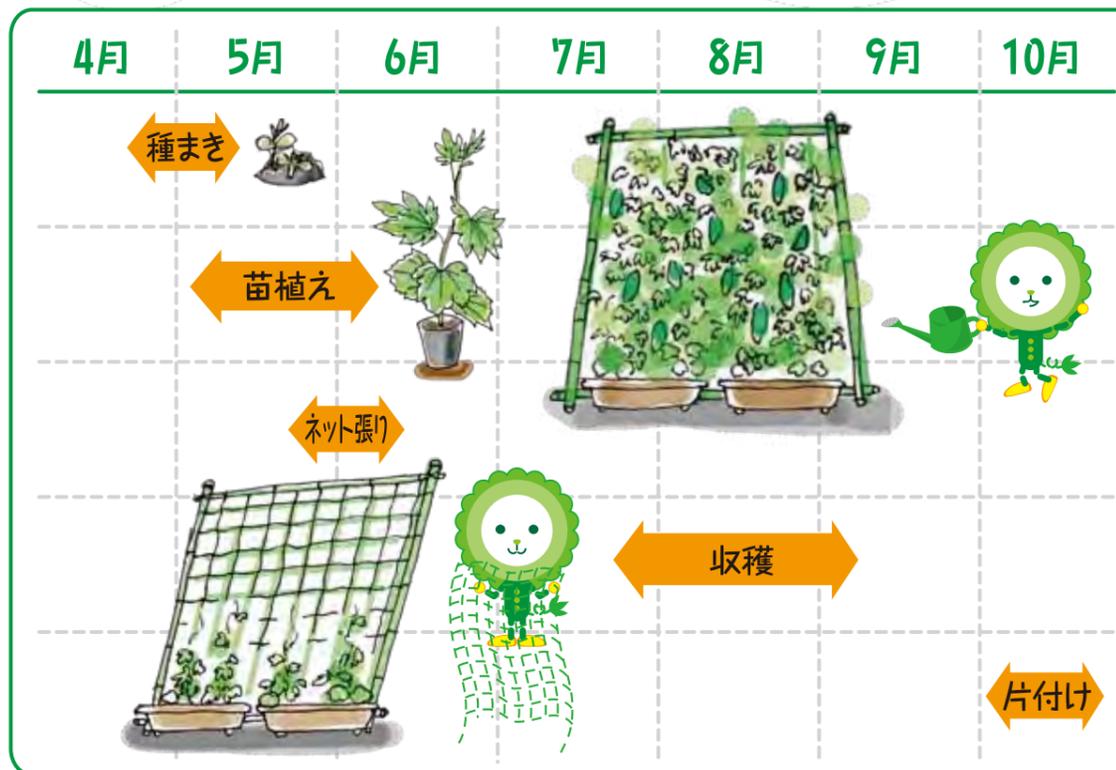


その他

じょうろ・スコップ・軍手など



栽培スケジュールです



記録しましょう!

実施日: 月 日 ()
 天気: 気温:
 コメント:

1 土・プランターの準備

土は、市販の野菜用の培養土を使うのが簡単です。培養土には元肥も含まれており、そのまま使うことができます。市販の土ではなく、花壇や畑などの土を使う場合は、土6~7に対し腐葉土4~3の割合で、また苦土石灰を土1リットルに1gを混ぜて用います。

前の年に植物を育てていた土に同じ科の植物を植えると、連作障害が出ることがありますので、土を入れ替えるか、違う科のものを育てましょう。

プランターはできるだけ容量の大きいものを用意しましょう。ゴーヤなどの野菜は根がたくさん張り、夏場は大量の水を吸い上げるので、土の量が少ないとすぐに乾いてしまいます。1苗あたり30リットルが目安です。

また、水はけを良くし根ぐされを防ぐために、プランターの底には鉢底石や軽石、発砲スチロールを砕いたものなどを敷きます。

プランターを置く場所がアスファルトの上など高温になる場合は、プランターの下にコンクリートブロックや木切れを置くなどして、地面からの熱を防ぐようにします。

